



山に関するTOPICS

県産材の利用拡大! 金山杉を首都圏へ

総合建設業・ヤマムラ(新庄市)の挑戦

製材業からスタートし、現在は東京都内や仙台市でも幅広く建築や内装工事を手掛ける総合建設業のヤマムラ(本社・新庄市)。金山町森林組合とタッグを組み、本県を代表するブランド材である「金山杉」の販路を広げようと取り組んでいます。

1965(昭和40)年に創業し、今は一般住宅から商業店舗、高齢者施設の建築や内装工事から不動産事業まで展開するヤマムラ。83年に東京営業所、90年に仙台営業所を開設(それぞれ後に支店に昇格)。2005年には日本で初めて木造耐火建築による老人介護施設を東京都内で施工、10年には「仙台トラストタワー」の内装仕上げ工事を施工するなど県外でも実績を重ねてきました。一方で19年には新庄市の本社隣接地にJAS認定の製材工場を新設。県産材の利用拡大にも力を入れています。

このたび、関東圏で約400坪(約1322平方メートル)の児童福祉施設を建てる案件で、金山町森林組合に材料の供給依頼があり、同時に施工者の問い合わせもありました。これを機に、木造建築を得意とするヤマムラと同森林組合がタッグを組み、金山杉の販路開拓に乗り出すことになりました。ヤマムラはこれまでも、金山杉の製材を供給したり、使用を提案することはありましたが、「材料だけ買ってといっても難しい時代」(同社)。施工とセットにすることで施主の理解が得られやすくなり、一方で森林組合にとっては施工店を紹介できるメリットも生じます。両者にとってウィンウィンの取り組みによって、金山杉の首都圏での消費拡大を目指していきます。



ヤマムラの本社社屋(新庄市)

林業や森の暮らしのリアルを紹介

オンラインでセミナー開催



県内外の人を対象に「やまがたの森のしごと、暮らし 魅力発見セミナー」がこのほど開催され、オンラインで配信されました。やまがた森林と緑の推進機構と、ふるさと山形移住・定住推進センターが共催。U・Iターンを経て県内で林業に携わる庄司樹さん、雨森紀人さん、小関大祐さん、多田千尋さんの4人のゲストが、それぞれの取り組みなどについて語り合いました。

東京で映画製作にかかわった後にUターン、家業の「庄司林業」(大江町)を営む庄司さんは「ビジネスとして林業に魅力を感じている」、雪国で暮らしたい一念で横浜から最上郡に移住し、フリーの林業人として東北各地の山現場を奔走する雨森さんは「山や海で仕事し、暮らし、遊ぶ、垣根ない生活が理想」。ゲストで唯一女性の多田さんは、高知県での林業研修生、山形県立農林大学校を経て現在、荒正(山形市)で素材生産等を担当。「重機オペレーターなど機械作業は女性でも可能」と話します。横浜の建設会社勤務後、実家の小関興業(新庄市)にUターンした小関さんは「『最上青年林業協会』を結成し後継者の育成に力を注いでいる」と自身の活動を紹介しました。

セミナー視聴者からは「若い時すぐ林業の世界に飛び込まなかったのはなぜ?」といった質問が寄せられていました。

〈山や森で働く/山形で暮らす・働く〉

林業についてのお問い合わせ→
やまがた森林と緑の推進機構



移住全般について→
ふるさと山形移住・定住推進センター



川上から川下まで

柿崎工務所グループが取り組む循環型林業

新庄市に本社を構える総合建設業・柿崎工務所では、豊かな森林資源を生かそうと、グループ企業が一体となり木材の活用に取り組んでいます。林業の「川上」から「川下」まで一貫してかかわり、木材を流通・活用することで、山形県が推進する循環型林業の一翼を担い、森林の再生産などに貢献しています。

【川上】

「マルカ林業」では、グループが広域で所有する約1600㌦もの広大な所有林を守り育てています。県の支援制度を活用して高性能林業機械などを積極的に導入し、効率良く安全に、かつ安定的に木材を生産しているほか、自ら育苗圃を整備し種から苗を育て植林する「再造林」も手掛けています。

【川中】

育てた森から切り出した原木は、木材として活用します。高質材は建材加工し建築に活用。特に、公共建築物などに利用することで県産材の生産促進に貢献しています。低質材や山に放置されていた林地残材、製作所等から発生する端材はチップに加工します。

【川下】

生産したチップは「もがみバイオマス発電」で木質バイオマス燃料として有効活用しています。また「柿崎工務所」では、ユニバーサルホームやグリーンシードハウスというブランドで民間住宅の建築を手掛けています。材料の一部に高耐久・高品質の木材を使用した価値ある住宅を提案、提供しています。



高さ30mの大規模ボイラー

プレゼント

右記の書籍を2冊セットで20名さまに、抽選でプレゼントいたします。

- ①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥性別 ⑦応募理由(書籍に期待すること)

①~⑦を明記し、はがき(宛先は下記)またはインターネット(右下のQRコード)でご応募ください。締め切りは2022年8月28日(日)必着。当選者は9月上旬、山形新聞紙面上で発表します。

■はがきの宛先

〒990-8550 山形市旅籠町2-5-12
山形新聞社広告局「山の日」係まで



里山ソムリエが見つけた暮らしを豊かにするレシピ集



「森に暮らす」

やまがた百名山にまつわる歴史、滝や里の名水、グルメ、温泉、お土産なども多数掲載!



「やまがた百名山」

やまがた森林ノミクス 山形県農林水産部森林ノミクス推進課

山形県では、地域の豊かな森林資源を「森のエネルギー」「森の恵み」として活かしていく『やまがた森林(モリ)ノミクス』により、林業の振興や雇用の創出を図り、地域活性化につなげていく取り組みを進めています。

ツイッターでも「やまがた森林ノミクス」の情報発信中!▼

